



2020年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年8月13日

上場会社名 窪田製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4596 URL <https://www.kubotaholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表執行役会長、社長兼最高経営責任者 (氏名) 窪田 良
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役最高財務責任者 (氏名) 前川 裕貴 TEL 03(6550)8928
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	38	-	△1,292	-	△1,253	-	△1,253	-	△1,253	-	△1,363	-
2019年12月期第2四半期	-	-	△1,530	-	△1,422	-	△1,422	-	△1,422	-	△1,683	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△29.64	△29.64
2019年12月期第2四半期	△34.18	△34.18

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	7,325	6,740	6,740	92.0
2019年12月期	8,741	8,077	8,077	92.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年12月期	-	0.00	-	-	-
2020年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	事業収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40	-	△3,000	-	△2,900	-	△2,900	-	△2,900	-	△68.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	42,303,188株	2019年12月期	42,303,188株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	70株	2019年12月期	70株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	42,295,790株	2019年12月期2Q	41,614,067株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想及びその他の将来予測に関する記述は、現在入手可能であり、かつ当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により著しく異なる可能性があります。業績予想については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明内容の入手方法について）

当社は、2020年8月25日に、機関投資家・アナリスト向けの四半期決算説明会（WEB会議）を開催する予定です。また、当社ウェブサイトにて、四半期決算補足説明資料の掲載及び四半期決算説明の動画配信を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(重要な会計方針)	8
(後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、眼科領域に特化しグローバルに医療用医薬品、医療機器の研究開発を行う眼科医療ソリューション・カンパニーです。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染の更なる拡大等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループは以下のとおり研究開発を進めました。

[低分子化合物]

エミクススタト塩酸塩については、スターガルト病を対象とする第3相臨床試験を2018年11月に開始し、現在も継続して実施しております。当該臨床試験は、被験者をランダムに10mgのエミクススタト投与群とプラセボ群に2対1で割り当て、1日1回の経口投与にて24か月間実施するもので、主要評価項目には、若年性黄斑変性スターガルト病患者における黄斑部の萎縮の進行を抑制する効果の検証、副次的評価項目には、最良矯正視力のスコアや読速度などの視機能の変化が含まれます。

当社では、2018年11月7日（米国時間）の最初の被験者登録完了後、グローバルに被験者登録を進めておりましたが、2020年5月1日に全被験者登録を完了し、最終的に世界11カ国、29施設において登録された被験者の総数は194名となりました。なお、当社は被験者登録数の目標を当初162名と設定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大等の影響を踏まえ、被験者登録数を積み増しております。

なお、エミクススタト塩酸塩は、スターガルト病の新規治療薬候補として、2017年1月にFDA（米国食品医薬品局）、2019年6月にEMA（欧州医薬品庁）よりオーファンドラッグ指定を受けています。

エミクススタト塩酸塩は、スターガルト病の他にも増殖糖尿病網膜症を対象とする第2相臨床試験を2017年度に実施しております。当該臨床試験の解析の結果、エミクススタト塩酸塩が黄斑浮腫を改善する可能性が示唆されましたが、第3相臨床試験は規模も大きく、多額の研究開発資金が必要になると見込まれることから、当社グループ単独で進めることは難しいと考え、パートナー企業との共同開発の可能性を模索しております。

[医療機器]

在宅で網膜の状態の測定を可能にする遠隔眼科医療モニタリングデバイス「PBOS（Patient Based Ophthalmology Suite）」については、引き続き量産型試作機の開発を進め、初期型の試作機が完成しました。現在は、更なる機能改善のため、AI（人工知能）を活用した3D生成機能などのソフトウェア改良を行いつつ、パートナー企業との共同開発、商業化の可能性を模索しております。

また、当社グループは有人火星探査に携行可能な超小型眼科診断装置の開発をNASA（米国航空宇宙局）と共同で進めておりますが、2020年4月に同プロジェクトのフェーズ1が完了しました。これに伴い、TRISH

（Translational Research Institute for Space and Health: NASAとの共同契約を通じた提携により、NASAのデュープスペースミッションにおける、宇宙飛行士の精神的、身体的健康を保護、維持するための革新的な技術に資金供与を行うコンソーシアム）より受領した開発受託金を、事業収益に計上しました。

当社グループでは、PBOSに次ぐ医療機器プロジェクトとして、当社独自のアクティブスティミュレーション技術「クボタメガネ・テクノロジー」を活用した、近視の進行を抑制するウェアラブル近視デバイスの開発も行っております。2020年5月には、卓上デバイスでの効果検証において、眼軸長（角膜から網膜までの長さ）が対照眼と比較して短縮することを確認しました。これを受け、2020年6月30日（日本時間）より、ウェアラブルデバイスにおける米国での概念実証（POC）試験を開始し、継続しております。

[遺伝子治療]

遺伝子治療については、遺伝性網膜疾患である網膜色素変性を対象として、プロモーター及びカプシドの改良、導入遺伝子の改変といった前臨床研究を継続しました。

(研究開発費)

当第2四半期連結累計期間の研究開発費は、前年同四半期と比較して260百万円減少（前年同四半期比△20.5%）し、1,010百万円となりました。これは、ウェアラブル近視デバイスの開発費用が増加した一方で、遠隔眼科医療モニタリングデバイス「PBOS」の開発費用が減少したこと、人員削減等により研究開発関連の人件費や諸経費が減少したことが主な要因です。

(単位：%を除き、千円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率(%)
研究開発費	1,269,643	1,009,786	△259,856	△20.5

(一般管理費)

当第2四半期連結累計期間の一般管理費は、前年同四半期と比較して60百万円増加（前年同四半期比22.8%）し、320百万円となりました。これは、前年同四半期において人員削減に伴い株式報酬費用が減少したこと、当第2四半期連結累計期間において株式報酬費用を計上したことが主な要因です。

(単位：%を除き、千円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率(%)
一般管理費	260,846	320,350	59,504	22.8

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べて1,056百万円減少し7,121百万円となりました。これは、その他の金融資産が減少したことが主な要因です。

(非流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の非流動資産は、前連結会計年度末と比べて359百万円減少し204百万円となりました。これは、その他の金融資産が減少したことが主な要因です。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比べて42百万円減少し464百万円となりました。これは、その他の流動負債が減少したことが主な要因です。

(非流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の非流動負債は、前連結会計年度末と比べて37百万円減少し121百万円となりました。これは、リース負債が減少したことが主な要因です。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末の資本は、前連結会計年度末と比べて1,337百万円減少し6,740百万円となりました。これは、四半期損失の計上により繰越損失（利益剰余金のマイナス）が拡大したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日に公表致しました通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大等を前提とした分析となっており、現在のところ変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染拡大等が業績に与える影響は軽微であると考えておりますが、今後も状況の変化を注視し、業績への影響が見込まれる場合には速やかに開示をいたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,192,367	4,313,530
その他の金融資産	3,778,244	2,705,160
その他の流動資産	206,837	102,321
流動資産合計	8,177,448	7,121,011
非流動資産		
有形固定資産	53,176	78,467
その他の金融資産	487,741	90,804
その他の非流動資産	22,226	34,805
非流動資産合計	563,143	204,076
資産合計	8,740,591	7,325,087
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金	91,711	16,230
未払債務	178,610	250,737
未払報酬	65,196	71,049
リース負債	132,125	125,547
その他の流動負債	37,798	—
流動負債合計	505,440	463,563
非流動負債		
長期繰延賃借料及び リース・インセンティブ、その他	17,715	15,266
リース負債	140,354	105,850
非流動負債合計	158,069	121,116
負債合計	663,509	584,679
資本		
資本金	842,595	842,595
資本剰余金	26,160,540	26,186,631
利益剰余金	△17,110,873	△18,364,324
その他の資本の構成要素	△1,815,180	△1,924,494
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,077,082	6,740,408
資本合計	8,077,082	6,740,408
負債及び資本合計	8,740,591	7,325,087

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

【第2四半期連結累計期間】

【要約四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
事業収益	—	37,786
事業費用		
研究開発費	1,269,643	1,009,786
一般管理費	260,846	320,350
事業費用合計	1,530,489	1,330,136
営業損失	△1,530,489	△1,292,350
その他の収益及び費用		
金融収益	124,121	51,230
金融費用	△13,860	△8,263
その他の収益(△は費用)	△2,211	△4,068
その他の収益及び費用合計	108,050	38,899
税引前四半期損失	△1,422,439	△1,253,451
四半期損失	△1,422,439	△1,253,451
四半期損失の帰属		
親会社の所有者	△1,422,439	△1,253,451
1株当たり四半期損失		
基本的1株当たり四半期損失(円)	△34.18	△29.64
希薄化後1株当たり四半期損失(円)	△34.18	△29.64

(要約四半期連結包括利益計算書)

【要約四半期連結包括利益計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期損失	△1,422,439	△1,253,451
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△260,994	△109,314
その他の包括利益合計	△260,994	△109,314
四半期包括利益	△1,683,433	△1,362,765
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△1,683,433	△1,362,765

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本 の構成要素	親会社の所有者 に帰属する 持分合計	合計
2019年1月1日現在残高	482,340	25,867,681	△14,137,639	△1,669,411	10,542,971	10,542,971
会計方針の変更による影響額			92,335		92,335	92,335
2019年1月1日調整後残高	482,340	25,867,681	△14,045,304	△1,669,411	10,635,306	10,635,306
四半期損失			△1,422,439		△1,422,439	△1,422,439
在外営業活動体の換算差額				△260,994	△260,994	△260,994
四半期包括利益	—	—	△1,422,439	△260,994	△1,683,433	△1,683,433
株式報酬		△24,600			△24,600	△24,600
新株の発行	360,140	309,363			669,503	669,503
新株発行費用		△3,202			△3,202	△3,202
所有者との取引額合計	360,140	281,561	—	—	641,701	641,701
2019年6月30日現在残高	842,480	26,149,241	△15,467,743	△1,930,405	9,593,573	9,593,573

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本 の構成要素	親会社の所有者 に帰属する 持分合計	合計
2020年1月1日現在残高	842,595	26,160,540	△17,110,873	△1,815,180	8,077,082	8,077,082
四半期損失			△1,253,451		△1,253,451	△1,253,451
在外営業活動体の換算差額				△109,314	△109,314	△109,314
四半期包括利益	—	—	△1,253,451	△109,314	△1,362,765	△1,362,765
株式報酬		28,947			28,947	28,947
新株発行費用		△2,856			△2,856	△2,856
所有者との取引額合計	—	26,091	—	—	26,091	26,091
2020年6月30日現在残高	842,595	26,186,631	△18,364,324	△1,924,494	6,740,408	6,740,408

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期損失	△1,422,439	△1,253,451
四半期損失から営業活動に使用された現金 (純額) への調整		
減価償却費	22,554	21,994
株式報酬	△24,600	28,947
市場性有価証券のプレミアムまたはディス カウントの償却	△43,048	△7,212
金融収益	△124,121	△51,230
金融費用	13,860	8,263
営業資産及び負債の変動		
その他の流動資産	66,906	99,667
その他の流動負債	37,825	△37,127
買掛金	18,772	△73,772
未払債務	△200,808	75,666
未払報酬	△154,307	6,716
繰延賃借料及びリース・インセンティブ	—	△2,178
その他の資産	49,265	△12,414
小計	△1,760,141	△1,196,131
利息の支払額	△13,951	△8,325
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,774,092	△1,204,456
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息の受取額	118,635	59,996
その他の金融資産の取得による支出	△3,622,936	△1,558,745
その他の金融資産の満期償還による収入	4,887,000	2,928,145
その他の金融資産の売却による収入	164,779	—
有形固定資産の取得による支出	—	△11,138
有形固定資産の売却による収入	9,706	—
リース債権の回収による収入	38,343	48,240
敷金及び保証金の回収による収入	—	11,488
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,595,527	1,477,986
財務活動によるキャッシュ・フロー		
普通株式の発行による収入	661,700	—
その他	—	△2,862
リース負債の返済による支出	△115,589	△74,028
財務活動によるキャッシュ・フロー	546,111	△76,890
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84,969	△75,477
現金及び現金同等物の増減額	282,577	121,163
現金及び現金同等物の期首残高	2,584,873	4,192,367
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,867,450	4,313,530

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同様であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において事業収益を認識しておりますが、履行義務の充足を含む収益認識の会計方針は以下のとおりであります。

収益認識

当社グループは、顧客との契約（IFRS第9号「金融商品」に基づく利息及び配当収益等を除く）について、以下のステップを適用することにより収益を認識しております。

ステップ1：顧客との契約を識別する。

ステップ2：契約における履行義務を識別する。

ステップ3：取引価格を算定する。

ステップ4：取引価格を契約における履行義務に配分する。

ステップ5：履行義務が充足されたときに（又は充足するにつれて）収益を認識する。

当社グループでは、医療用医薬品及び医療機器の研究開発に従事しており、それには、他社・他組織からの受託研究開発も含まれます。受託研究開発においては、研究開発プロジェクトが終了し、その成果物が、顧客である委託企業・組織に対して引渡された時点において、顧客が当該成果物に対する支配を獲得することから、履行義務が充足されるものと判断しております。そのため、顧客に対する当該成果物の引渡時点で、事業収益を認識しております。

また、顧客との契約獲得のための増分費用や、それに伴う回収可能であると見込まれる部分について、資産として認識されるものではありません。

(後発事象)

(新株予約権の発行)

当社は、2020年6月26日開催の取締役会決議に基づき、2020年7月13日に行使価額修正条項付第25回新株予約権(第三者割当)(以下「本新株予約権」という。)を発行しております。

[本新株予約権の概要]

(1) 割当日	2020年7月13日
(2) 発行新株予約権数	90,000個
(3) 発行価額	新株予約権1個当たり51円(総額4,590,000円)
(4) 当該発行による潜在株式数	潜在株式数:9,000,000株 上限行使価額はありません。 下限行使価額は197円ですが、下限行使価額においても、潜在株式数は9,000,000株です。
(5) 資金調達額	3,531,590,000円(差引手取概算額)(注)1
(6) 行使価額及び行使価額の修正条項	当初行使価額393円 行使価額は、本新株予約権の各行使請求の効力発生日の直前取引日の東証終値の94%に相当する金額に修正されますが、かかる計算による修正後の行使価額が下限行使価額を下回る場合となる場合には、下限行使価額を修正後の行使価額とします。
(7) 募集又は割当方法	第三者割当の方法によります。
(8) 割当先	パークレイズ・バンク・ピーエルシー
(9) 譲渡制限及び行使数量制限の内容	当社は、パークレイズ・バンク・ピーエルシー(以下「パークレイズ・バンク」という。)との間で第三者割当契約(以下「本第三者割当契約」という。)を締結いたしました。本第三者割当契約において、パークレイズ・バンクは、当社取締役会の事前の承認がない限り、本新株予約権をパークレイズ・バンクの関連会社以外の第三者に譲渡することはできない旨及びパークレイズ・バンクが本新株予約権を譲渡する場合には、あらかじめ譲渡先となる者に対して、当社との間で本第三者割当契約の内容を約束させ、また、譲渡先となる者がさらに第三者に譲渡する場合にも当社に対して同様の内容を約束させるものとする旨を規定しております。当社は、株式会社東京証券取引所の定める有価証券上場規程第434条第1項及び同施行規則第436条第1項から第5項まで並びに日本証券業協会の定める「第三者割当増資等の取扱いに関する規則」第13条の定めに基づき、パークレイズ・バンクとの間で締結した本第三者割当契約において、行使数量制限を定めております。
(10) その他	本第三者割当契約において、以下の内容が定められています。 ・当社による本新株予約権の行使の停止 ・当社による本新株予約権の取得 ・ロックアップ(注)2

(注) 1. 資金調達額は、本新株予約権の発行価額の総額(5百万円)に本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の合計額(3,537百万円)を合算した金額から発行諸費用の概算額(10百万円)を差し引いた金額です。なお、本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の合計額は、当初行使価額ですべての本新株予約権が行使されたと仮定した場合の金額です。行使価額が修正又は調整された場合には、資金調達額は増加又は減少することがあります。また、本新株予約権の行使期間内に行使が行われない場合及び当社が取得した本新株予約権を消却した場合には、資金調達額は減少します。

- (注) 2. 本新株予約権の募集に関連して、当社は、パークレイズ・バンクとの間で、本第三者割当契約の締結日以降、未行使の本新株予約権が存在しなくなった日までの間、パークレイズ・バンクの事前の書面による承諾を受けることなく、①当社普通株式、当社普通株式に転換又は交換されうる有価証券並びに当社普通株式を取得する権利又は義務の付された有価証券（新株予約権、新株予約権付社債及び当社普通株式への転換予約権又は強制転換条項の付された株式を含みますがこれらに限られません。以下「ロックアップ対象有価証券」という。）の発行、分割、併合、無償割当て、募集、貸付け、売付け、売付契約の締結、当社の株主によるロックアップ対象有価証券の売出しについて同意することその他譲渡若しくは処分を行うこと若しくはそれらのための機関決定を行うこと、②ロックアップ対象有価証券の所有権若しくはその経済的価値の全部若しくは一部を直接若しくは間接的に譲渡するような、デリバティブ取引（差金決済若しくは現物決済のいずれも含みます。）その他の取引を行うこと、③当社の指示により行為する法人若しくは個人に①若しくは②に定める行為を行わせること、又は、④①若しくは②に記載する行為を行うことを企図していること若しくはそれに同意することを発表若しくは公表（当社の発行する有価証券についての第三者からの公開買付けに対する賛成の意見表明を含む。）することを行わない旨合意しています。
- ただし、①本第三者割当契約の締結日においてロックアップ対象有価証券が存在する場合における、当該ロックアップ対象有価証券の行使又は当該ロックアップ有価証券に付された権利の行使若しくは義務の履行による当社普通株式の交付、②当社及び当社の関係会社（財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則に定める意味を有します。以下同じです。）の取締役、執行役員、執行役、監査役、使用人、従業員及び外部コンサルタントを対象とする新株予約権の発行及び当該新株予約権の行使による当社の株式の交付、及び③当社及び当社の関係会社の取締役、執行役員、執行役、監査役、使用人及び従業員を対象とする譲渡制限付株式報酬制度又は信託を用いたインセンティブプランに係る当社の株式の発行、交付又は譲渡等は上記の禁止される行為にはあたりません。